

こんしゅう せいしょけんきゅう
今週の聖書研究ガイドのポイント

アドベンチスト 聴覚しょうがい者友の会

そう だい だいそうとう
総 題 「大争闘」

だいよんか しんり た
第4課 真理のために立つ

まつしたこうだい
松下晃大

あんしょうせいく
○暗唱聖句

「そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」ヨハネ3:14, 15

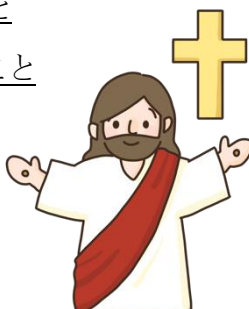
いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

わたし たちセブンスデー・アドベンチストは、聖書を大切に、神様に[※]1忠実に従う教会です。キリスト教の歴史を見ると、[※]1忠実だったために[※]2迫害された人たちがたくさんいました。

暗唱聖句のヨハネ3:14, 15は、十字架にかかるイエス様を信じる大切さを教えています。イエス様を見上げることで、永遠の命を得るのです。それ以外に永遠の命を得る方法はありません。

※1 忠実：神様に心の全てを捧げること

※2 迫害：体も心も苦しめていじめること



に にちようび はくがい しょうり
2. 日曜日：迫害されても勝利する

「彼はいと高き方に敵対して語り、いと高き方の聖者らを悩ます。彼は時と法を変えようとたくらむ。聖者らは彼の手に渡され、一時期、二時期、半時期がたつ。」ダニエル7:25

聖書には霊的暗黒時代の時期が書いてあります。霊的暗黒時代とは、サタンが働きを強め、神様に[※]1忠実な民が[※]2迫害された時代のことです。

「一時期、二時期、半時期」は全部あわせると三時期半です。一時期は1年のことですので、3年半と



いう期間^{きかん}になります。これを日数^{にっすう}にすると1260^(せんにひやくろくじゅう)日^{にち}になります(1年^{いちねん}は360^(さんびやくろくじゅう)日^{にち})。

聖書^{せいしょ}の※³預言^{よげん}の箇所^{かしょ}では、1日^{いちにち}を1年^{いちねん}と置き換えて考^おえることが出来ます。つまり、1260^(せんにひやくろくじゅう)年^{ねん}という長い期間^{なが きかん}になります。この期間^{きかん}をキリスト教^{きょう れきし}の歴史^あに当てはめると、ぴったり西暦^{せいれき}538^(ごひやくさんじゅうはち)年^{ねん}～1798^(せんななひやくきゅうじゅうはち)年^{ねん}に当てはまります。この長い期間^{なが きかん}、ローマ教皇^{きょうこう}が神様^{かみさま}に代わって人々^{ひと}を導^{みちび}きました。神様^{かみさま}に忠実^{ちゅうじつ}な民^{たみ}は迫害^{はくがい}されたのです。しかし、忠実^{ちゅうじつ}な民^{たみ}たちは信仰^{しんこう}をつないでいき、信仰^{しんこう}が無^なくなることはありませんでした。

※3 預言：神様が人を通して伝える意思

3. 月曜日：光は闇を打ち負かす

「あなたがたに手紙^{てがみ}を書いて、聖なる者^{せいもの}たちに一度^{いちど}伝えられた信仰^{しんこう}のために戦^{たたか}うことを、勧めなければならなかったからです。」ユダ^{ユダ}3

ユダの手紙^{てがみ}は、※¹忠実^{ちゅうじつ}なクリスチャンに向けて書^かかれた手紙^{てがみ}です。聖書^{せいしょ}とは違う教え^{ちが おし}が広まる中^{ひろ}、信仰^{しんこう}のために戦^{たたか}い※¹忠実^{ちゅうじつ}に歩^{あゆ}むようにと教えています。



4. 火曜日：立ち向かう勇氣

「人間^{にんげん}に従^{したが}うよりも、神^{かみ}に従^{したが}わなくてはなりません。」使徒言行録5：2 9

ガイドにワルド派^はという人^{ひと}たちの紹^{しょう}介^{かい}があります。ワルド派^はは靈^{れい}的^{てき}暗^{あん}黒^{こく}時^じ代^{だい}において、神様^{かみさま}に※¹忠実^{ちゅうじつ}に歩^{あゆ}んだ人^{ひと}たちです。彼^{かれ}らは自分^{じぶん}たちで聖書^{せいしょ}を※⁴翻^{ほん}訳^{やく}して大^{たい}切^{せつ}に使^{つか}いました。人^{ひと}の教^{おし}えではなく、神様^{かみさま}の教^{おし}えに従^{したが}う歩^{あゆ}みをつづ^{つづ}けた人^{ひと}たちでした。

※4 翻訳：自分の言語に変えること



5. 水曜日：宗教改革の明星

「主^{しゅ}の命^{めい}令^{れい}はまっすぐで、心^{こころ}に喜^{よろこ}びを与^{あた}え、主^{しゅ}の戒^いめは清^{きよ}らかで、目^めに光^{ひかり}を与^{あた}える。」詩篇^{しへん} 1 9：9

ワルド派^はの人^{ひと}たちももちろん、神様^{かみさま}に※¹忠実^{ちゅうじつ}な民^{たみ}は、聖書^{せいしょ}の言^{こと}葉^ばを喜^{よろこ}びました。聖書^{せいしょ}を学^{まな}ぶとき心^{こころ}に喜^{よろこ}びがあつたのです。そして喜^{よろこ}んで聖書^{せいしょ}の教^{おし}えを守^{まも}りました。



ろく もくようび きぼう はげ 6. 木曜日：希望によって励まされる

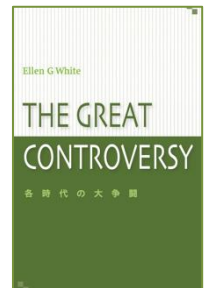
「はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じ
る者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。」ヨハ
ネ5: 2 4

※²迫害されても神様に※¹忠実だった民（人々）はたくさんいました。彼らは聖書に
書かれている約束を信じ、イエス様を見上げたのです。永遠の命という希望によって
励まされたのです。



なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

エレンホワイトの『各時代の争闘』第4章、第5章、第6章をぜひお読みく
ださい。イエス様を信じていたために迫害された人たちの記録がのっています。彼ら
はひどい扱い（※²迫害）を受けてもなお、イエス様を信じ、聖書に※¹忠実でし
た。



はな あ しつもん 話し合いのための質問

- ・みなさんの住んでいる地域において、聖書の教えと違う考え方や習慣はありますか？ もし聖書の
教えと違うことをしなければならなくなったら、あなたはどのような行動をしますか？
- ・キリスト教の歴史の中で、迫害されても神様に※¹忠実だった人たちについて考えてみましょう。彼
らはなぜ※¹忠実だったのでしょうか。私たちは彼らのどのような所をお手本にすることができます
か？